

報道関係各位

## 特別展「彫りを彩る一人間国宝 山岸一男の世界」

### 展覧会について

2018年に重要無形文化財「沈金」保持者に認定された山岸一男氏は、1976年に日本伝統工芸展に初入選して以降、長きにわたって公募展への出品を重ねてきました。その間、沈黒や沈金象嵌、螺鈿など、幅広い技法と卓越した技、考え抜かれた意匠によって新たな表現を切り拓いてきました。本展覧会では、山岸氏の作品の魅力と絶えざる探求の歩みを珠玉の作品によってご紹介します。

|                  |   |
|------------------|---|
| 展覧会名             | 特別展「彫りを彩る一人間国宝 山岸一男の世界」   |
| 会 期              | 2022年9月17日（土）～11月6日（日）＊会期中無休  |
| 開館時間             | 午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）   |
| 入 館 料            | 一 般：630円（520円） 高大学生：320円（210円）<br>小中学生：150円（100円） ※（ ）内は20人以上の団体料金  |
| 主催・会場            | 石川県輪島漆芸美術館（展示室1・2・3）  |
| 後 援              | 石川県・輪島市・輪島漆器商工業協同組合・北國新聞社   |
| 本件に関する<br>お問い合わせ | 石川県輪島漆芸美術館 担当：河原・寺尾<br>〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地<br>TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789<br>E-mail:urushiart@ca1.wannet.jp<br><a href="https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/">https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/</a> |

### 展覧会関連行事

#### 開会式

日時：9月17日（土）8：40～9：30

会場：当館エントランスホール

#### クロストーク 山岸一男×寺尾健一（工芸史家）

山岸氏の創作の歩みと作品の見どころについて、対話形式でお話しいただきます。

日時：9月25日（日）14：00～15：30

会場：当館講義室（参加無料）

定員：50名（要電話予約） 8月25日から予約開始

代表的な作品



沈黒飾篋「緑陰」

1980（昭和55）年  
第27回日本伝統工芸展  
個人蔵



沈金象嵌螺鈿短冊箱「深山路」

1992（平成4）年  
第9回日本伝統漆芸展 文化庁長官賞  
個人蔵



沈金象嵌合歡図色紙箱

1993（平成5）年  
第40回日本伝統工芸展  
石川県七尾美術館蔵



沈黒緑陰箱「能登有情」

2005（平成17）年  
第52回日本伝統工芸展 高松宮記念賞  
石川県立美術館蔵



漆象嵌盤「涼蔭」

2010（平成22）年  
第57回日本伝統工芸展 朝日新聞社賞  
石川県輪島漆芸美術館蔵



沈黒漆象嵌箱「若楓」

2021（令和3）年  
第68回日本伝統工芸展  
個人蔵